

問 経済の活性化に寄与することを目的に平成24年度に住宅リフォーム支援のしくみが創設され、1千万円の予算が計上された。その利用実績は。

経済建設部長 平成25年3月11日現在、全体総工事金額は59件分で6千213万円、総工事金額に対する総補助額は914万円である。

平均工事額は105万円で、1件あたり平均補助額は約15万5千円で約6.8倍である。工事種別は屋根防水工事、サッシ取替工事、外壁の塗装、トイレや浴槽の改修工事、給水管取替工事、その他多岐にわたっている。

申請の合計は、81件で予算枠いっぱい応募があった。助成制度の初年度にもかかわらず、町民の需要に応えた事業だと評価している。

住宅リフォーム助成の拡充を



大城 毅 議員

問 予算規模をさらに拡大して実績を具体的にPRし、需要を喚起してはどうか。

経済建設部長 新年度は先着順で行う方法に改める。兼城十字路の電光掲示板への掲載や区長会などへ助成制度の説明をするなど、需要喚起に努める。

高齢者の外出を促すために

問 高齢者の健康づくり、生きがいづくりのうえでも外出を促すことは重要である。町内巡回バスを進める必要はないか。

民生部長 現在実施している、ちむぐくる館を拠点とした巡回バス、リフト付き車両の無料運行を強化・充実していきたい。



リフト付き車両での外出支援

問 兼城十字路、当間原交差点のバス停の屋根・ベンチの設置について関係機関と調整しているか。

経済建設部長 当間原交差点は事務調整が済み、南部国道事務所から回答を得ている。兼城十字路のバス停はまだ調整していない。

こんな質問もしました

- ・中央公民館前の県道に照明灯を早期設置できないか
- ・入札制度の改善を進めるべき
- ・南斎場建設負担金のあり方について